昭和大学病院

クオリティインディケーター（QI）成果報告
〔放射線治療科〕

指標名

ヒダリ乳房温存術後に対して深呼吸息止め照射を行った割合

目標・ゴール

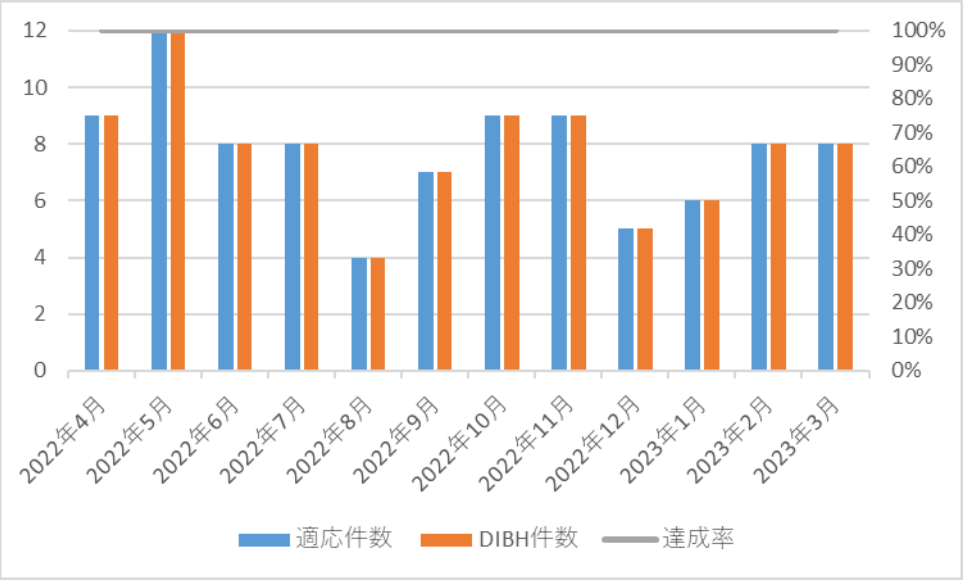
ヒダリ乳房温存術後深呼吸息止め照射（DIBH）は、心臓への被ばくを低減させることができる照射技法である。呼吸に合わせた照射のため、患者および職員（医師・看護師・診療放射線技師・医学物理士・事務）の協力が不可欠である。

70 歳以下のヒダリ乳房温存術後患者への適応を 100%とする。

目標・ゴール達成による効果

心臓への被ばく量を低減させ、心臓の晩期有害事象の発生率を低下させる。

目標・ゴールに対する成果の状況



目標・ゴール達成度

※該当項目に☑をつけてください

☑S　:大幅に目標を上回った
☐A^{+}:目標を多少上回って達成
☐A　:目標を達成
☐B^{+}:目標を少し下回った
☐B　:目標を下回った
☐C　:目標を大幅に下回った
☐ー　:外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

昨年度は対象患者での実施率が 100%を達成した。

ヒダリ乳房温存術後の深呼吸息止め照射の知識・経験・実施が診療科内の各職種で定着したと判断した。

深呼吸息止め照射は来年度も継続して実施する。

来年度の QI は新たな分野を設定し、放射線治療の更なる質の向上を図る。